

- 1
 趣
 旨
 県勢の発展に寄与する教育の重要性に鑑み、教職員の真摯な教育研究を助長し、これを顕彰して、本県教育の振興を図る。
- 2
 主
 催
 茨城県教育研究会
- 3
 後
 援
 茨城県教育委員会
- 4
 対
 象
 茨城県教育研究会の会員を対象とし、研究は個人または、共同のいずれでもよい。
- 5
 論文の募集

- (1)
 研究の内容
 ア
 本県教育の課題をさぐり、教育の進展に寄与するもの。

令和元年度
  
 研究の目標
 (案)

新学習指導要領が目指す姿を踏まえ、変化の激しい社会を生きるために必要な力である「生きる力」を確実に育むために、「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた研究を推進する。併せて、生涯にわたって能動的に学び続けることができるよう、「カリキュラム・マネジメント」の充実を図り、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進する。

1
  
 学ぶ意欲を育む。

「何ができるようになるのか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」という学びの質を重視した授業改善を図りながら、学ぶ意欲を育む研究に努める。

2
  
 思いやりと感謝の心を育み、健やかな体を育てる。

道徳科を要とした道徳教育及び体育・健康に関する指導等を充実させ、豊かな心や人間性、健やかな体を育むための研究に努める。

3
  
 創意ある教育活動を展開する。

家庭や地域との連携・協働及び学校段階間の接続を重視し、創意を生かした特色ある教育活動の研究に努める。

- イ
  
 部門は次に掲げるもの。(応募票に審査を受けたい部門名を一つ書くこと。)

教育課程、学習指導、国語、社会、算数・数学、理科、生活・総合的な学習の時間、音楽、図画工作・美術、体育・保健体育、家庭、技術・家庭、外国語活動・外国語、道徳、特別活動、学校行事、学校経営、学年経営、学級経営、生徒指導、キャリア教育、勤労教育、情操教育、福祉教育、環境教育、人権教育、郷土教育、国際理解教育、情報教育、校内研修、特別支援教育、小規模校教育、学校図書館教育、学校健康教育、学校事務、その他

- (2)
  
 応募規定
 (厳守)

- ア
  
 ○
 A
 4
 縦・横書き・上質紙
  
 ○
 文字の大きさは原則
 1
 1
 ポイント
  
 ○
 1
 枚の文字数は、原則
 4
 2
 字×
 4
 0
 行
 ○
 余白は、上下のみ
 2
 5
 mm
 程度
  
 ○
 綴じ込み表紙は黒とし、つづりひもで上綴じ、応募票（A
 4
 縦半分）を表紙に貼付

- イ
  
 目次
 (1
 枚)
 →
 研究概要
 (1
 枚)
 →
 本文
 (
 1
 1
 枚以上
 1
 3
 枚以内)
 の順で綴じる。(合計
 1
 3
 枚以上
 1
 5
 枚以内)

- ウ
  
 本文の冒頭に、研究主題名を記載する。

- エ
  
 本文内の資料は、
 1
 0
 点内とし、資料
 1
 ・資料
 2
 …と表記する。複数点の資料をひとつの資料とする場合は、 
 囲みとする。図表・資料等の過度の縮小は行わない。児童生徒の作品等は、文字がはっきり読めるものにする。

- オ
  
 別添資料を付ける場合は、本文を補完するものに精選し、必要最小限とする。
 ○
 体裁は本文と同じA
 4
 縦
  
 ○
 綴じ込み表紙は黒とし、つづりひもで上綴じ、応募票（A
 4
 縦半分）を表紙に貼付

- カ
  
 指導案が必要な場合は、その一部を資料として本文に入れる。ただし、指導案全文を資料とする場合は別添資料とする。(本文中で、「別添資料
 1
 (学習指導案)」と表記)
 また、本文中に展開部分すべてを入れることがないようにする。

- キ
  
 参考文献の表示は、本文内に含めて書く。

- ク
  
 研究発表会で発表されている場合は、必ずその旨を研究概要に明記する。

- ケ
  
 以下の①、②を、応募論文とともに必ず送付する。

- ①
  
 応募票のコピー（
 1
 枚：A
 4
 縦半分）
- ②
  
 応募チェック表（
 1
 枚）

校内で、チェック表を活用して応募規定の確認を必ず行う。

※見出し記号等につ
 いて

- 1
  
 □□□□□
- (1)
  
 □□□□□
- ア
  
 □□□□□
- (ア)
  
 □□□□□

※2
 ページ以降の左
 づめは可とする

※文体は常体とする

※罫線は行間を原則
 とする

※二桁以上の数字は
 半角を原則とする

<文章の書き出し等>

- 1
 空□□□□
- 文章の書き出し→□□□□
- 改行→□□□□□
- (1)
 空□□□□
- 文章の書き出し→□□□□
- 改行→□□□□□
- ア
 空□□□□
- 文章の書き出し→□□□□
- 改行→□□□□□
- (ア)
 空□□□□

- (3)
  
 応募上の留意点

- ア
  
 文部科学省指定校、県研究推進校等としての研究内容と、ほぼ同一内容の論文でないこと。
- イ
  
 内地留学・大学院等でまとめた研究と、ほぼ同一内容の論文でないこと。
- ウ
  
 教育弘済会等他機関に応募した論文と、ほぼ同一内容の論文でないこと。都市町村の発表や教研連の発表は差し支えない。
- エ
  
 過去に賞を受けた論文（優秀賞、優良賞）の再応募でないこと。

- (4)
  
 送付及び締切り日

- ア
  
 送付先及び問い合わせ先
 〒
 311-1125
  
 水戸市大場町
 9
 3
 3-1
 「教育プラザいばらき」内
  
 教育論文委員会係宛
  
 TEL
 029(269)1300(代)
- イ
  
 締切り日
 令和元年年
 1
 0
 月
 3
 1
 日
 (木)
 厳守(当日消印有効)
  
 事務局へ直接持参する場合は、
 1
 0
 月
 3
 1
 日
 (木)
 午後
 5
 時まで。

- 6
  
 論文の審査

- (1)
  
 提出された論文は、下記によって構成された教育論文委員並びに審査員が審査する。

教育論文委員 ― 教育研究会代表・県教育庁義務教育課代表  
 審
 査
 員 ― 研究部の部長及び副部長等・県教育庁指導主事等

- (2)
  
 審査結果の発表

令和元年
 1
 2
 月
 2
 0
 日
 (金)
 に本人に通知する。

- 7
  
 表
  
 彰

優れた論文に対して賞状及び副賞として次の研究奨励費を贈る。

- ◇
 優
 秀
 賞
  
 5
 万円
  
 若干名
 (県知事賞・県議会議長賞・県教育長賞等も合わせて表彰)
- ◇
 優
 良
 賞
  
 1
 万円
  
 若干名
- ◇
 佳
 作
 (一次審査を通過した者のうち、優秀・優良以外の者)
- ◇
 褒
 状
 (応募者のうち上記以外の者)※共同研究の場合は代表者
 1
 名に贈る。

- 8
  
 そ
  
 の
  
 他

- (1)
  
 優秀賞・優良賞を受けた論文は、「教育論文集
 第
 5
 4
 集」として、茨城県教育研究会員の学校及び関係機関に配布する。
- (2)
  
 優秀賞・優良賞を受けた論文は、WEBページ(教育プラザいばらき：茨城県教育研究会)に掲載する。
- (3)
  
 募集要項と応募票、応募チェック表は、WEBページ(教育プラザいばらき：茨城県教育研究会)に掲載する。応募票は、WEBページからダウンロードして使用する。

<よい論文をつくるためのポイント>

- 1
  
 主題に対し、研究の進め方は適当か。
- 2
  
 確かな論拠に基づき、論旨は明確か。
- 3
  
 内容に独創性があるか。
- 4
  
 実践(研究)の積み上げがあるか。
- 5
  
 教育上または研究上の利用価値はあるか。
- 6
  
 論文の体裁は適切か。
 ・
 論文の構成
 ・
 誤字脱字
 ・
 制限枚数
 ・
 資料
 ・
 文字数
 ・
 参考文献など
 ・
 行数